

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

(本編P.61～64)

目黒区の環境マネジメントシステムである「めぐろエコ・プラン(目黒区地球温暖化対策推進実行計画)」における平成24年度の取組み実績と取組みに対する評価について報告します。

平成24年度の取組み結果

区有施設のすべてを対象として、低炭素社会実現に向けた総合的な温室効果ガスの削減と循環型社会実現に向けたエネルギー使用量の削減やごみの減量等環境負荷の低減の取組みを進めました。

温室効果ガス(二酸化炭素)排出量の削減

温室効果ガスの排出量は、平成17年度を基準として、平成25年度に6%以上削減することを目標にしています。

平成24年度総排出量は19,248 t-CO₂であり、対平成23年度比で+2.0%、対基準年度比では-10.7%でした。排出源別に見ると、電気が全体の約65%を占め、都市ガスが約30%を占めています。このことから、二酸化炭素排出削減には、電気・ガスの使用量を削減することが重要であるといえます。

<二酸化炭素排出量の内訳> (単位:t-CO₂)

区分	平成17年度 (基準年)	平成24年度	構成割合
総排出量	21,566	19,248	100.0
内 訳	電気	13,880	64.3
	都市ガス	6,727	31.3
	水道	145	0.8
	下水道	398	2.1
	化石燃料	394	1.3
	その他	22	0.1

* 化石燃料：ガソリン、LPG、CNG、軽油、灯油、重油など
* その他：自動車走行距離などから算出したメタンや一酸化二窒素を二酸化炭素に換算
* 各区分の数値は、四捨五入しているため、合計と異なることがある。算出にあたっては、東京都地球温暖化対策指針(平成17年4月1日)による排出係数を使用した。

新エネルギー・省エネルギー機器等の導入

区有施設において、新築及び改修時に省エネ性能の高い照明や空調機等の省エネルギー機器の導入、建物の断熱化等を行いました。

環境負荷低減の取組み

環境負荷低減に向けて、前年度以下の量に減らすことを目標にし、ごみの排出量と紙の使用量削減を行っています。

平成24年度は、紙の使用量は前年度比-2%であり、ごみの排出量は前年度比+4%でした。

<紙の使用量> (単位:万枚)

区分	平成23年度	平成24年度	対前年度比
用紙の購入量	4,517	4,429	-2%
外注印刷物	5,267	5,232	-1%

* A4サイズに換算

平成24年度の取組み結果に対する評価

区民と学識経験者からなる第三者評価委員会が、めぐろエコ・プランの平成24年度取組み結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

- [評価結果] ○
温室効果ガス排出量削減とそれに向けた取組みは非常に評価できる。環境負荷の低減に向けた取組みは、ごみの排出量の増加の要因分析と実際の削減に向けた取組みが必要である。
- また、研修を工夫するとともに、有効なPDCAサイクルを活用できる運営体制として欲しい。 ○